舞鶴赤れんがパークにおける三角地の活用について

■舞鶴市概要

【基本情報】
▸人口：80,336人（令和2年国勢調査） ▸面積：342.13㎢
▸本州日本海側ほぼ中央部に位置し、天然の良港を有し古来から海と港を核として歩んできた。

【市の主な歴史】
▸浦入遺跡から発掘された約5,300年前の大型丸木舟に象徴されるように、古くから海を介して広い範囲の交流をしながら人々の暮らしが営まれてきた。
▸本市西地区は、戦国時代末期に、細川藤孝（幽斎）・忠興親子らが田辺城を築城し城下町として発展。
▸中・東地区は、明治34年舞鶴鎮守府開庁に先駆けて計画的な都市づくりによる市街地が形成。（H29に日本の20世紀遺産20選認定：日本イコモス国内委員会）
▸戦後、鎮守府等は解体され、邦人引揚港としての役割を担うほか、旧軍港市転換法により、旧軍用施設を公共施設や民間施設に転換する道が開かれた。

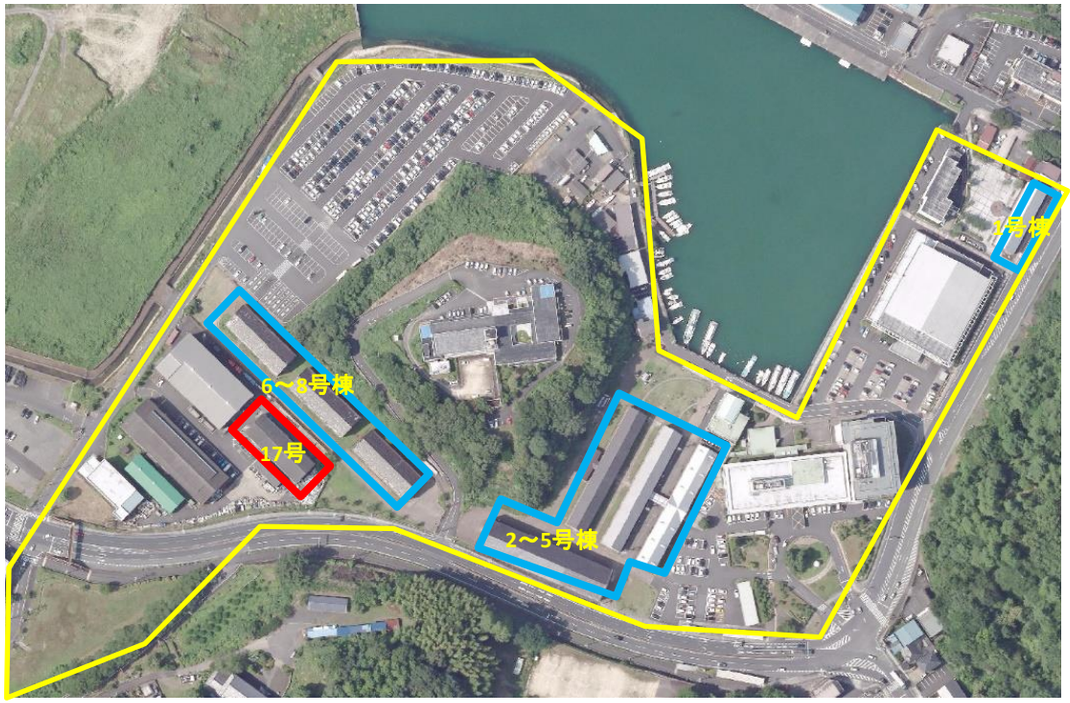
▸その後、S23に舞鶴海上保安部（現第八管区海上保安本部）が、S27には、保安庁警備隊舞鶴地方隊（現海上自衛隊舞鶴地方総監部等）が設置され、海の安全、国防の拠点が築かれた。
▸現在、京都舞鶴港は、国内外からのクルーズ客船の寄港地や、東アジア諸国の貿易港として定着。また、H27に舞鶴引揚記念館の収蔵資料がユネスコ世界記憶遺産に登録。H28に、旧軍港4市（舞鶴、横須賀、呉、佐世保）の近代化のストーリーが日本遺産に認定されている。

【特産品】（左から）万願寺甘とう、舞鶴産のお茶、舞鶴かに、育成岩がき、とり貝、かまぼこなど。

■赤れんがを活かしたまちづくり

【赤れんがを活かしたまちづくりの変遷】

平成元年	自主研究グループが赤れんが倉庫に着目 （以降、研究会、赤れんがのライトアップ等を実施）
平成5年	赤れんが博物館オープン（1号棟） （当時、取り壊し予定としていた倉庫を活用）
平成6年	市政記念館オープン（2号棟）
平成19年	まいづる知恵蔵オープン（3号棟）
平成20年	「赤れんが倉庫群」国の重要文化財に認定
平成24年	舞鶴赤れんがパークグランドオープン（4・5号棟） 「まいづる観光ブランド戦略」策定 → 「赤れんが」「海・みなと」をシンボルイメージに



■赤れんが、海・みなとを活かしたイベント

『MAIZURU PLAYBACK FES』

『艦これ』公式コラボイベント

舞鶴赤れんがハーフマラソン

舞鶴ちゃった花火大会

舞鶴赤れんがパークにおける三角地の活用について

■赤れんがパーク概要

※図は整備後イメージ図

海側遊歩道 ボードウォーク イメージ

コワーキングスペース

赤れんが5号棟

【主なイベント】
1月：成人式
GW：ウッディフェスタ
10月：赤れんがハーフマラソン
毎月：赤れんがバザール

その他…
クラシックカーフェス
YORUれんが
掘り出し市
音楽イベント
コスプレイベント
マルシェイベント　等

【R6駐車台数】
平日約600台/日
休日約1000台/日
GW約2000台/日

■赤れんが周辺等まちづくり事業の開始

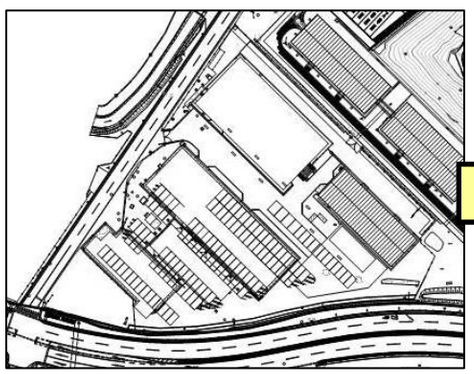
▸「舞鶴赤れんがパーク」を中心に、海上自衛隊関連施設を含む周辺地域を交流拠点として一体的に整備するべく、H27に基本構想、H28に基本計画、H29に実施計画を策定し、令和元年から外構整備を開始した。 合わせて、更なる賑わい創出を図るため、park-PFI 活用し、公民一体で整備・運営を図っている。

▸公共整備概要
R3 博物館前広場整備
R6 駐車場整備・園路整備
以後6～8号棟や三角地を整備予定

▸park-PFIによる民間活力を生かした整備概要
R4～ シェアオフィス、芝生広場のレストラン、オープンテラス、文庫山エリアの整備

▸海や山に囲まれた自然の中で、赤れんがをはじめとした近代化の歴史が感じられる景観を有し多くの観光客を誘客している。年々、貸館を活用したイベントも増えており市内外の人の交流拠点として機能している中、更なる人流の拡大を図りたい。

■三角地及び17号倉庫について

【概要】
▸所有者：防衛省（令和8年度、市が取得予定）
▸建築年：大正8年（築105年）
▸種目：倉庫
▸構造：煉瓦造2階建
▸土地面積：10457.43㎡（三角地全体）
▸建築面積：581.81㎡
▸延床面積：1,090.9㎡
▸耐震：未耐震
▸アクセス：
・東舞鶴駅から約1.8km（車4分、徒歩24分）
・西舞鶴駅から約7.8km（車15分）
・京都駅から約97km（車1時間54分、JR特急まいづる1時間36分、京都駅から高速バスあり）
・大阪駅から約136km（車2時間1分、JR大阪駅-京都駅-東舞鶴駅2時間16分、梅田・難波から高速バスあり）
・神戸駅から約144km（車2時間3分、JR神戸駅-京都駅-東舞鶴駅2時間43分、神戸三田から高速バスあり）
▸近隣建物：赤れんが6～8棟（活用方法検討中）

三角地整備イメージ